

令和4年度「隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」の取組結果について

1. 計画の概要

隠岐広域連合では事業活動に伴い排出される温室効果ガスを削減するため、「第4期隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」（令和4～令和8年度）を策定し、対策に取り組んでいます。※この計画における温室効果ガスは二酸化炭素（CO₂）としています。

■令和4年度の取組結果は以下のとおりです。

（単位：tCO₂）

	令和3年度 （基準年度）	目標値 （削減△18%）	令和4年度 （実績）	前年度増減比
二酸化炭素	2,808	2,303	2,446	△362

2. 温室効果ガスの排出状況

1) 主要項目別取組結果

■主要項目別では、電気、ガソリンにおけるCO₂の排出量が前年度に比べて増加しています。

（単位：tCO₂）

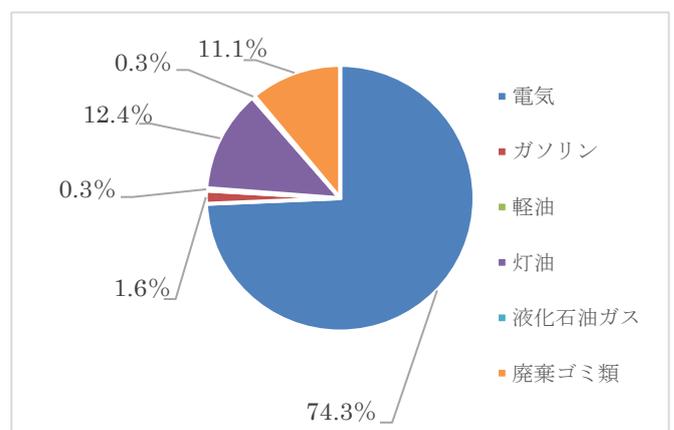
	令和3年度 （基準年度）	①目標値 （全体削減率△18%）	②令和4年度 （実績）	前年度増減比
電気	1,771	1,452	1,818	47
ガソリン	34	28	39	5
軽油	8	7	7	△1
灯油	310	254	304	△6
液化石油ガス	9	8	8	△1
廃棄ゴミ類	676	554	270	△406

2) 要因別温室効果ガスの排出割合

■排出割合を見ると、電気が74.3%と半数以上を占めています。

（単位：tCO₂）

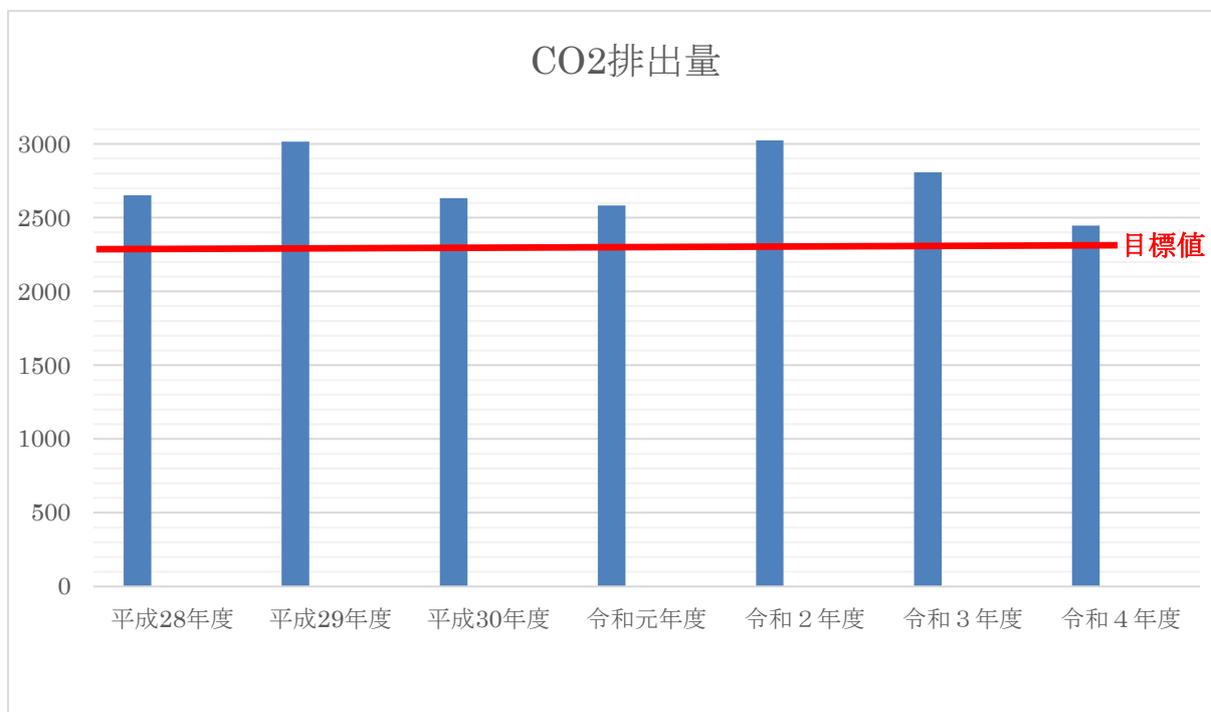
	令和4年度 （実績）	割合
電気	1,818	74.3%
ガソリン	39	1.6%
軽油	7	0.3%
灯油	304	12.4%
液化石油ガス	8	0.3%
廃棄ゴミ類	270	11.1%



3) 取り組みの推移

■令和4年度は前年度と比較して13.9%の減少、目標値と比較して6.2%増となっています。

(単位：tCO₂)



3. 取組結果の状況

隠岐広域連合の温室効果ガスの総排出量は、前年度に比べ減少しました。要因としては、廃棄ゴミ類の減少が考えられます。

4. 今後の取り組み

令和4年度の温室効果ガスの総排出量は、前年度に比べ減少させる事ができました。しかし、目標値にはまだ届いておらず、電気、ガソリンの部門においては、温室効果ガスの排出量が増加しています。関係各所での新型コロナウイルス対策等、未だ厳しい状況が続いていますが、引き続き地球温暖化対策への意識を忘れず、光熱費等の削減に取り組んでいきます。